

福島地方環境事務所の最近の動き
(今週の福島)

【最近の動きのポイント】

○ 除染・廃棄物対策関連

- ・双葉町、大熊町、浪江町及び富岡町の特定復興再生拠点区域において、建物等解体撤去及び除染工事を実施中です
- ・前月と比較して、除染特別地域（直轄除染）の仮置場等における保管物数が約 18 万袋減少し、4 箇所の仮置場等で搬出が完了しました（7 月 31 日時点）
- ・汚染状況重点調査地域（市町村除染）の仮置場等の状況について、福島県の公表資料により作成しました
- ・田村市地見城仮置場の原状回復が完了しました

○ 中間貯蔵施設関連

- ・鏡石町及び広野町から平成 30 年度の輸送を開始しました

< 除去土壌等の輸送の進捗状況 >

今年度の輸送対象物量	搬入済量（8/28 時点）	進捗率
約 180 万 m ³	約 44.5 万 m ³	約 24.9%
累積の輸送対象物量	搬入済量（8/28 時点）	進捗率
約 1,400 万 m ³	約 120.4 万 m ³	約 8.7%

○ リスクコミュニケーション等関連

- ・自治体職員や相談員等の活動の支援、住民の放射線に関する理解醸成の支援、環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です
- ・いわき市において、「第 2 回相談員合同ワークショップ」を開催しました（8/28）
- ・リプルンふくしまが開館しました（8/24）
- ・リプルンふくしまで実験教室を開催しました（8/25, 26）
- ・福島環境再生に関するトピックを発信する「環境再生レポート」を更新しました

I. 除染・廃棄物対策関連

1 特定復興再生拠点区域の解体・除染について

帰還困難区域内における特定復興再生拠点区域において、各町村の策定した計画に基づき、家屋解体・除染等を実施しています。

○ 最近の動き

- ・双葉町、大熊町、浪江町及び富岡町において、建物等解体撤去及び除染工事を実施中です。

詳細は別添 1、3 のとおり

2 避難指示解除済み地域等の除染・廃棄物処理関連事業について

帰還困難区域を除き、3月に8県100市町村のすべてで面的除染が完了し、必要なフォローアップ等を実施しています。

各市町村において、必要な被災家屋等の解体等の廃棄物処理を実施しています。

仮置場で除去土壌・廃棄物等を保管しています。搬出が終わった仮置場については、順次、早期の解消を目指し原状回復を実施しているところです。

- 除染事業及び被災家屋等の解体等の実施状況(除染特別地域、汚染廃棄物対策地域)
別添 1 のとおり
- 除染仮置場等の状況について
 - ・除染特別地域(直轄除染)における除染仮置場等の状況について(平成30年7月31日時点)
前月(6月30日時点)と比較し、仮置場等における保管物数が約18万袋減少し、4箇所の仮置場(檜葉町1箇所、飯館村2箇所、大熊町1箇所)で搬出が完了しました。
 - ・汚染状況重点調査地域(市町村除染)の仮置場等の状況(平成30年6月30日時点)について福島県の平成30年8月30日公表資料により作成しました。
別添 4 のとおり
- 搬出の完了した仮置場については、原状回復を進めているところです。今般、搬出の完了した仮置場のうち、8月までに田村市「地見城」仮置場の原状回復が完了しました。
別添 5 のとおり
- 特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況
別添 6 のとおり

II. 中間貯蔵施設関連

中間貯蔵施設の整備及び除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入を実施しています。

(1) 最近の動き

- 鏡石町及び広野町から平成30年度の輸送を開始しました。
別添 7 のとおり

- ・鏡石町 http://josen.env.go.jp/chukanchozou/pdf/moving_soil_plan_kagamiishi_h30.pdf
- ・広野町 http://josen.env.go.jp/chukanchozou/pdf/moving_soil_plan_hirono_h30.pdf

○ 除去壤等の輸送の進捗状況

今年度の輸送対象物量	搬入済量（8/28時点）	進捗率
約 180 万 m ³	約 44.5 万 m ³	約 24.9%
累積の輸送対象物量	搬入済量（8/28時点）	進捗率
約 1,400 万 m ³	約 120.4 万 m ³	約 8.7%

(2) 平成 30 年度の進捗状況

○ 除去土壌等の輸送

(8月28日までの搬入実績)

搬出市町村		今年度の 搬出可能量 (m ³)	今年度の 学校等(現場保管) からの輸送予定量 (m ³)	今年度の 搬入済量(m ³)	累積 搬入済量 (m ³)
浜通り	いわき市	22,200	7,800	5,761	28,159
	相馬市	16,100	-	-	16,851
	南相馬市	113,200	-	12,973	41,035
	広野町	31,900	-	-	9,560
	檜葉町	72,400	-	31,486	56,942
	富岡町	162,400	-	38,203	81,652
	川内村	42,400	-	27,300	41,855
	大熊町	147,000	-	38,201	89,565
	双葉町	132,700	-	10,409	57,328
	浪江町	130,300	-	15,061	51,539
	葛尾村	71,400	-	18,777	35,304
飯舘村	151,600	-	28,109	56,400	
中通り	福島市	78,700	20,000	11,494	36,369
	郡山市	67,200	20,900	52,671	116,038
	白河市	33,800	100	15,642	40,103
	須賀川市	22,000	3,600	12,403	27,328
	二本松市	50,000	-	13,542	57,323
	田村市	47,800	300	13,311	39,801
	伊達市	62,600	6,000	13,802	34,720
	本宮市	20,600	-	9,145	32,430
	桑折町	19,200	-	365	16,999
	国見町	16,300	-	6,948	18,292
	川俣町	71,600	-	24,952	47,231
	大玉村	13,700	-	7,073	16,338
	鏡石町	0	300	60	7,590
	天栄村	16,100	-	1,372	11,043

	西郷村	54,900	-	17,906	38,990
	泉崎村	15,200	-	5,324	15,755
	中島村	6,400	-	5,827	14,054
	矢吹町	13,900	-	7,221	16,818
	三春町	24,400	-	-	14,189
	合計	1,728,000	59,000	445,338	1,204,003※

※ フレキシブルコンテナ等1袋の体積を1m³と換算しています。

※ 中間貯蔵施設への搬入済量（2018年5月末時点）及び輸送待機量（焼却前の可燃物を含む仮置場等で保管している量（国直轄除染：2018年5月末時点、市町村除染：2018年3月末時点）及び仮設焼却施設等で減容化し保管されている量（国直轄除染：2018年5月末時点、市町村除染：2018年3月末時点））の合計量。

※ 10万Bq/kg超の廃棄物、その他現時点で定量的な推計が困難な帰還困難区域の除染等で発生した（発生することが見込まれる）除去土壌等は含まれていません。

※ 累積搬入済量の合計値には、2018年3月末時点で搬入が完了している市町村の搬入量が含まれているため、記載されている市町村の累積搬入済量の合計とは数字が一致しません。

- 中間貯蔵施設及び周辺の空間線量率等
こちらから御確認ください（中間貯蔵施設及び周辺モニタリング（JESCO サイト）
<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html#hokanba>
- 中間貯蔵施設に係る工事等について
工事等の一覧は別添2のとおり

Ⅲ. 放射線健康リスクコミュニケーション等関連

①自治体職員や相談員等の活動の支援、②住民の放射線に関する理解醸成の支援、③環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です。

(1) 最近の動き

- 環境再生プラザにおいて専門家派遣・モニタリング支援（説明・測定・資料作成支援）・移動展示等を実施中です。
- 放射線を可視化するガンマカメラを活用した、住民向けリスクコミュニケーション支援事業を実施中です。
- 富岡町において、ホールボディ・カウンタによる内部被ばく線量測定を実施しました(8/22～25)。
- 浪江町において、まちづくりなみえ職員に放射線の研修会を行いました(8/27)。
- いわき市において、「第2回相談員合同ワークショップ」を開催しました(8/28)。
別添8のとおり
- いわき市において、「放射線健康管理のための基礎研修」を開催します(9/3)。
- 川内村(9/3～9/6)と檜葉町(9/3～9/9)において、ホールボディ・カウンタに

よる内部被ばく線量測定を実施します。

- 8月24日に特定廃棄物埋立情報館「リプルンふくしま」が開館しました。また同施設において、25日及び26日に実験教室を開催しました。

別添9及び10のとおり

- 福島環境再生に関するトピックを発信する「環境再生レポート」を更新しました。

http://josen.env.go.jp/plaza/restoration/report_180829.html

※環境再生プラザでは、今後も福島環境再生に関する様々なトピックを「環境再生レポート」として発信していきます。

(2) これまでの実施状況

(8月31日時点)

項 目		実施回数	
		H29年度	今年度
① 自治体職員や相談員等の活動の支援	(ア) 職員向け研修会	77回	25回
	(イ) 専門家派遣	47回	6回
② 住民の放射線に関する理解醸成の支援	(ア) 住民セミナー	72回	18回
	(イ) 車座意見交換会	62回	18回
	(ウ) 個人線量測定の支援(WBC)	83日	27日
	(エ) リスクコミュニケーション拠点(長崎大、弘前大)による活動		
	(オ) ガンマカメラ活用リスクコミュニケーション支援事業	184台・日	87台・日
③ 環境再生等に関する情報発信(環境再生プラザ)	(ア) 専門家派遣	142件	51件
	(イ) 移動展示	42件 [55日]	17件 [26日]

除染事業及び被災家屋等の解体等の工事一覧
(除染特別地域、汚染廃棄物対策地域)

市町村	工事名
南相馬市	<p>○平成 29 年度南相馬市環境復旧等工事 (H30/2/13～) ※H30. 3 月に着工</p> <p>○平成 29 年度南相馬市建物解体等撤去工事 (H29/4/19～) ※H29. 6 月に着工</p> <p>○平成 30 年度南相馬市建物解体等撤去工事 (H30/8/8～) ※着工準備中</p>
浪江町	<p>○平成 29 年度 (平成 28 年度繰越) 浪江町フォローアップ除染等工事 (H29/9/25～) ※H29. 10 月に着工</p> <p>○平成 30 年度浪江町仮置場復旧等工事 (H30/5/15～) ※H30. 7 月に着工</p> <p><u>○平成 30 年度浪江町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/6/20～)</u> ※H30. 8 月に着工</p> <p>○平成 29 年度浪江町建物解体等撤去工事 (H30/1/25～) ※H30. 3 月に着工</p> <p>○平成 30 年度浪江町被災建物等解体撤去工事 (H30/4/11～) ※H30. 6 月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請 (特定復興再生拠点区域) を受付中</p>
双葉町	<p><u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H29/12/4～)</u> ※H29. 12 月に着工</p> <p><u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H30/1/10～)</u> ※H30. 2 月に着工</p> <p>○平成 29 年度双葉町建物解体等撤去工事 (その 2) (H30/2/8～) ※H30. 4 月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請を受付中</p>
大熊町	<p>○平成 30 年度 (平成 29 年度繰越) 大熊町仮置場復旧等工事 (H30/7/19～) ※H30. 8 月に着工</p> <p><u>○平成 29 年度大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/1/25～)</u> ※H30. 3 月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請を受付中</p>

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

市町村	工事名
富岡町	<p>○平成 29 年度(平成 28 年度繰越) 富岡町除染等工事(夜の森地区他) (H29/5/22~)</p> <p>※H29. 6 月に着工</p> <p>○平成 29 年度(平成 28 年度繰越) 富岡町フォローアップ除染等工 事 (H29/9/26~)</p> <p>※H29. 10 月に着工</p> <p><u>○平成 30 年度富岡町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等 及び除染等工事(その1)(H30/8/7~)</u></p> <p>※H30. 8 月に着工</p> <p>○平成 29 年度富岡町建物解体等撤去工事(その2)(H29/12/27~)</p> <p>※H30. 3 月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中</p>
檜葉町	<p>○平成 29 年度檜葉町仮置場復旧等工事(H29/4/19~)</p> <p>※H29. 5 月に着工</p> <p>○平成 30 年度(平成 29 年度繰越) 檜葉町仮置場復旧等工事(H30/7/5 ~)</p> <p>※H30. 8 月に着工</p> <p>○平成 30 年度檜葉町建物解体等撤去工事(H30/7/9~)</p> <p>※H30. 7 月に着工</p>
飯舘村	<p>○平成 30 年度(平成 29 年度繰越) 飯舘村仮置場復旧等工事 (H30/4/10~)</p> <p>※H30. 4 月に着工</p> <p>○平成 30 年度飯舘村建物解体等撤去工事(H30/4/13~)</p> <p>※H30. 6 月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中</p>
川俣町	<p>○平成 29 年度川俣町可燃物処理等整備工事(H29/8/8~)</p> <p>※H29. 8 月に着工</p> <p>○平成 30 年度(平成 29 年度繰越) 川俣町仮置場復旧等工事 (H30/6/29~)</p> <p>※H30. 6 月に着工</p> <p>○平成 30 年度川俣町建物解体等撤去工事(公共特殊建物) (H30/7/26~)</p> <p>※着工準備中</p>
葛尾村	<p>○平成 30 年度(平成 29 年度繰越) 葛尾村仮置場復旧等工事(その 2)(H30/6/20~)</p> <p>※H30. 7 月に着工</p> <p>○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中</p>

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

中間貯蔵施設に係る工事等の一覧

	工事名
土壌貯蔵 施設等	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事(双葉町) (H28/ 6/14～) ※H28. 11 月に着工、H29. 12 月貯蔵開始
	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事(大熊町) (H28/ 6/14～) ※H28. 11 月に着工、H29. 10 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵(双葉 1 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H29/ 5/11～) ※H29. 10 月に着工、今年度夏以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵(双葉 2 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H29/ 5/18～) ※H30. 1 月に着工、今年度冬以降に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵(大熊 1 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H29/ 5/11～) ※H29. 11 月に着工、H30. 7 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵(大熊 2 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H29/ 5/11～) ※H29. 9 月に着工、H30. 7 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵(大熊 3 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H29/ 5/18～) ※H29. 11 月に着工、H30. 7 月から受入・分別施設の運転開始、9 月に貯蔵開始見込み
	○平成 30 年度中間貯蔵(双葉 3 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H30/ 4/6～) ※今年度中に着工予定
	○平成 30 年度中間貯蔵(大熊 4 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H30/ 4/5～) ※今年度中に着工予定
	○平成 30 年度中間貯蔵(大熊 5 工区)土壌貯蔵施設等工事 (H30/ 4/10～) ※今年度中に着工予定

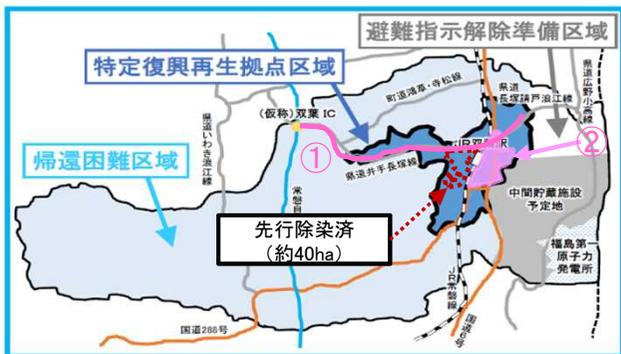
	工事名
廃棄物 関連施設	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物 処理その 1 業務（H30/3/1～） ※今年度中に着工予定、平成 31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物 処理その 2 業務（H30/3/1～） ※今年度中に着工予定、平成 31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/ 3/9～） ※平成 30 年 6 月に着工、平成 31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/ 3/8～） ※平成 30 年 7 月に着工、平成 31 年度内に稼働予定
その他 施設等	○平成 29 年度中間貯蔵に係る焼却灰保管場設置等工事（大熊町・ 双葉町）（H29/12/23～）
	○平成 29 年度保管場等整備工事（大熊町・双葉町）（H30/1/19～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域内他道路工事（H30 / 7 /19～）
	○平成 30 年度焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町）（H30/ 8 /24～）

特定復興再生拠点区域整備の状況(2018年8月31日時点)

別添 3

- 福島復興再生特別措置法の改正(H29.5)により、将来にわたって居住を制限するとされてきた帰還困難区域内に、避難指示を解除し、居住を可能とする「特定復興再生拠点区域」を定めることが可能となった。
- 市町村長は、特定復興再生拠点区域の設定及び同区域における環境整備（除染やインフラ等の整備）に関する計画を作成。同計画を内閣総理大臣が認定し、復興再生に向けて計画を推進（計画認定から5年を目途に避難指示解除を目指す）。
- これまでに、以下6町村の計画が認定され、双葉町、大熊町、浪江町、富岡町で解体・除染工事に着工。

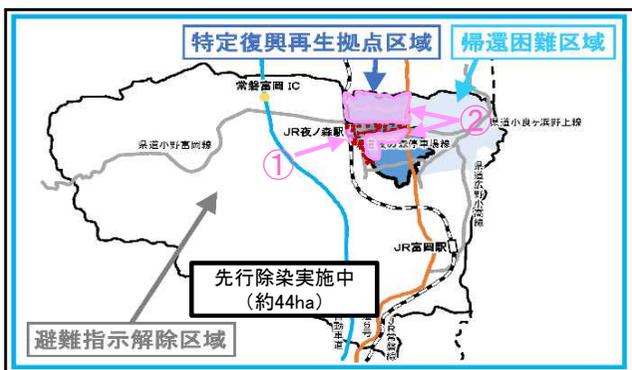
双葉町(2017.9.15認定、約560ha)



【工事状況】

- ①復興シンボル軸解体・除染工事
(解体55件、除染約7ha) : 12月25日着工
- ②駅東等解体・除染工事
(解体640件、除染約90ha) : 実施中

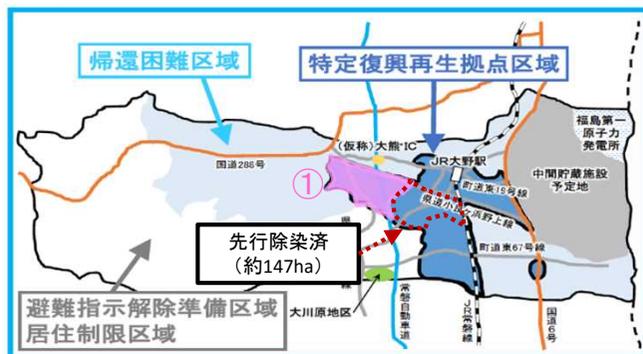
富岡町(2018.3.9認定、約390ha)



【工事状況】

- ①夜ノ森駅周辺の除染工事(除染約0.3ha) : 7月6日着工
- ②拠点北エリアの解体・除染工事
(解体300件、除染約80ha) : 実施中

大熊町(2017.11.10認定、約860ha)



【工事状況】

- ①下野上地区の西エリアを中心とした解体・除染工事
(解体460件、除染約160ha) : 3月9日着工

飯舘村(2018.4.20認定、約186ha)



【工事状況】解体・除染工事について調整中

浪江町(2017.12.22認定、約660ha)



【工事状況】

- ①一部道路の除染工事(除染約4ha) : 5月30日着工
- ②3地区における解体・除染工事
(解体60件、除染約30ha) : 実施中

葛尾村(2018.5.11認定、約95ha)



【工事状況】解体・除染工事について調整中

除染仮置場等の状況について

■ 除染特別地域（直轄除染）

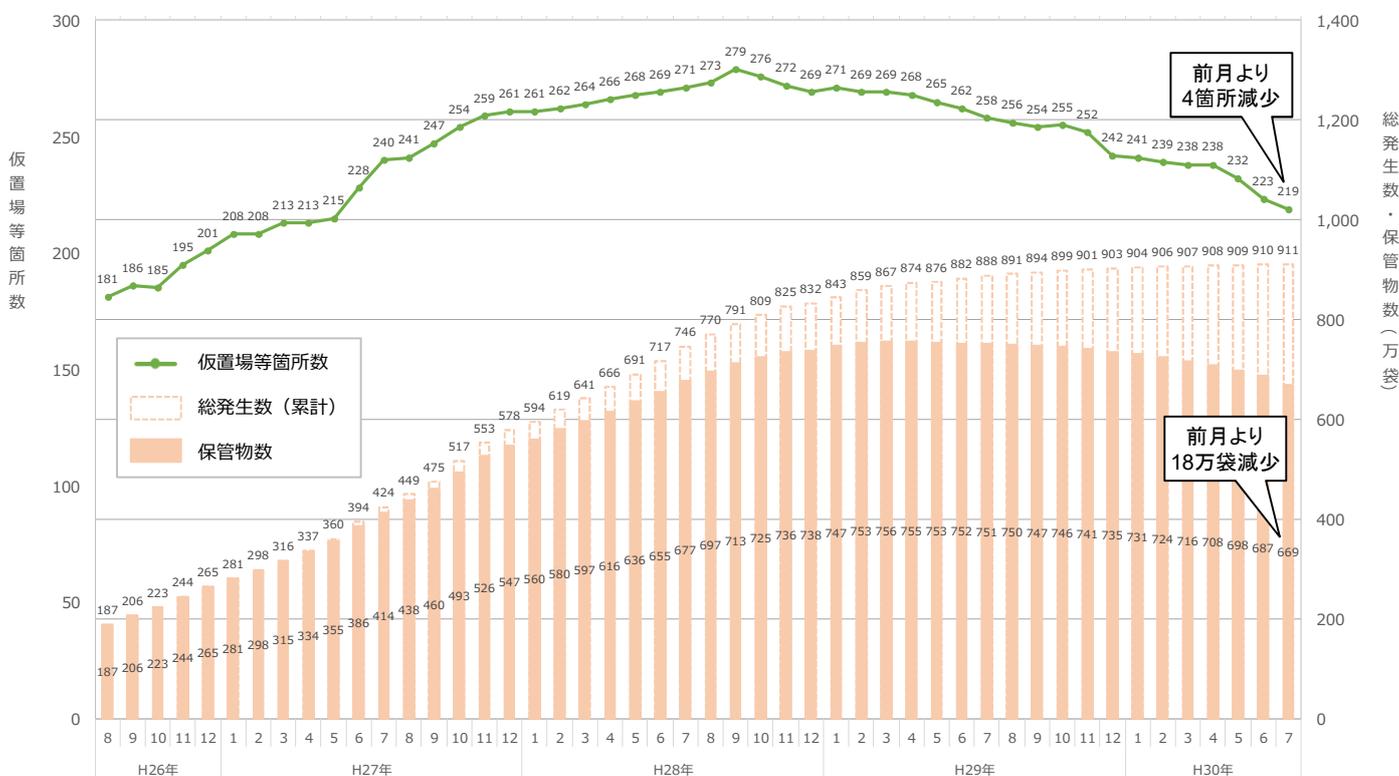
平成30年8月31日
(平成30年7月31日時点)

仮置場等の状況

市町村	仮置場等の総数	うち		
		保管中	搬出完了	原状回復完了
田村市	6	3	2	1
川内村	2	2	0	0
檜葉町	25	17	6	2
大熊町	18	10	6	2
川俣町	43	40	3	0
葛尾村	33	25	5	3
飯館村	102	77	14	11
南相馬市	18	13	0	5
浪江町	41	20	4	17
富岡町	22	8	2	12
双葉町	11	4	1	6
合計	321	219	43	59

- 注1) 仮置場等 : 仮置場のほか、一時保管所、仮仮置場等を含む。
- 注2) 保管中 : 除去土壌等が保管されている仮置場等を示す。
- 注3) 搬出完了 : 除去土壌等の搬出が完了し、原状回復等の作業中の仮置場等を示す。
- 注4) 原状回復完了 : 原状回復作業等が完了した仮置場等を示す。

仮置場等箇所数と保管物数の推移



- 注1) 仮置場等箇所数 : 除去土壌等を保管している仮置場等の箇所数を示す。
 - 注2) 保管物数 : 仮置場等で保管している数で、単位は「袋」。1袋当たりの保管物の体積は、おおむね 1 m³ (ただし、保管物の体積減少により、1袋が 1 m³より小さくなる場合もある)。
 - 注3) 除去土壌等の総発生数約911万袋の内訳は、保管物数約669万袋、搬出済み数 約242万袋 (うち仮設焼却炉への搬出は約197万袋、中間貯蔵施設等への搬出は約46万袋)
- ※数値は四捨五入して表記しているため、合計値は表示上の数字の合計と一致するとは限らない。

■汚染状況重点調査地域（市町村除染）

仮置場等の状況

（平成30年6月30日時点）

方部	市町村	仮置場等の総数				
			うち 保管中	うち 搬出完了	うち 返地済み	
県北	福島市	32	31	0	1	
	二本松市	353	228	13	112	
	伊達市	117	108	5	4	
	本宮市	26	24	1	1	
	桑折町	38	31	1	6	
	国見町	11	11	0	0	
	川俣町	22	20	2	0	
	大玉村	13	11	0	2	
	県中	郡山市	19	19	0	0
須賀川市		76	74	0	2	
田村市		97	95	0	2	
鏡石町		4	1	2	1	
天栄村		15	9	5	1	
石川町		1	0	0	1	
玉川村		1	0	0	1	
平田村		1	0	0	1	
浅川町		0	0	0	0	
古殿町		1	0	1	0	
三春町		6	6	0	0	
小野町		3	0	0	3	
県南		白河市	11	3	7	1
		西郷村	3	3	0	0
	泉崎村	6	5	1	0	
	中島村	1	0	1	0	
	矢吹町	4	4	0	0	
	棚倉町	12	0	8	4	
	矢祭町	0	0	0	0	
	塙町	1	0	0	1	
	鮫川村	1	0	0	1	
会津	会津坂下町	1	0	0	1	
	湯川村	1	0	0	1	
	柳津町	0	0	0	0	
	三島町	0	0	0	0	
	昭和村	1	0	0	1	
	会津美里町	1	0	1	0	
相双	新地町	1	0	0	1	
	相馬市	5	5	0	0	
	南相馬市	37	35	1	1	
	広野町	1	1	0	0	
	川内村	9	9	0	0	
いわき	いわき市	41	22	4	15	
合 計		973	755	53	165	

注1) 「市町村が設置する仮置場の整備状況等について（平成30年8月30日 福島県生活環境部除染対策課 公表資料）より環境省作成。

注2) 網掛けは汚染状況重点調査地域の指定解除済み市町村。

注3) 保管中 : 除去土壌等が保管されている仮置場等を示す。

注4) 搬出完了 : 除去土壌等の搬出が完了し、原状回復等の作業中の仮置場等を示す。

注5) 返地済み : 原状回復等が完了し、地権者へ返地した仮置場等を示す。

田村市 地見城仮置場じげんじょう の原状回復完了について

別添5

- 名称：地見城仮置場じげんじょう（所在地：田村市）
- 保管開始：平成24年10月、搬出完了：平成30年5月
- 最大除去土壌等数量：約3,050袋
- 面積：約0.2ha
- 仮置場の全体について、平成30年8月までに原状回復作業を完了。平成30年9月より田村市の基盤整備事業に引き継ぎ、農地として再生予定。

搬出前の仮置場全景



原状回復作業(保護砂撤去)



原状回復後



特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

平成 30 年 8 月 31 日

【最新の進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
8/22～8/28	663	32,053

※搬入は平日のみ実施しています。

※搬入量（袋数）は天候や調整状況により変動します。

【これまでの進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
平成 29 年 11 月	707	707
平成 29 年 12 月	2,746	3,453
平成 30 年 1 月	1,866	5,319
平成 30 年 2 月	2,523	7,842
平成 30 年 3 月	4,060	11,902
平成 30 年 4 月	4,965	16,867
平成 30 年 5 月	4,287	21,154
平成 30 年 6 月	5,615	26,769
平成 30 年 7 月	3,445	30,214
平成 30 年 8 月 (28 日まで)	1,839	32,053

搬入状況や環境モニタリング結果など、特定廃棄物埋立処分事業の進捗状況については、ホームページにて公表しています。

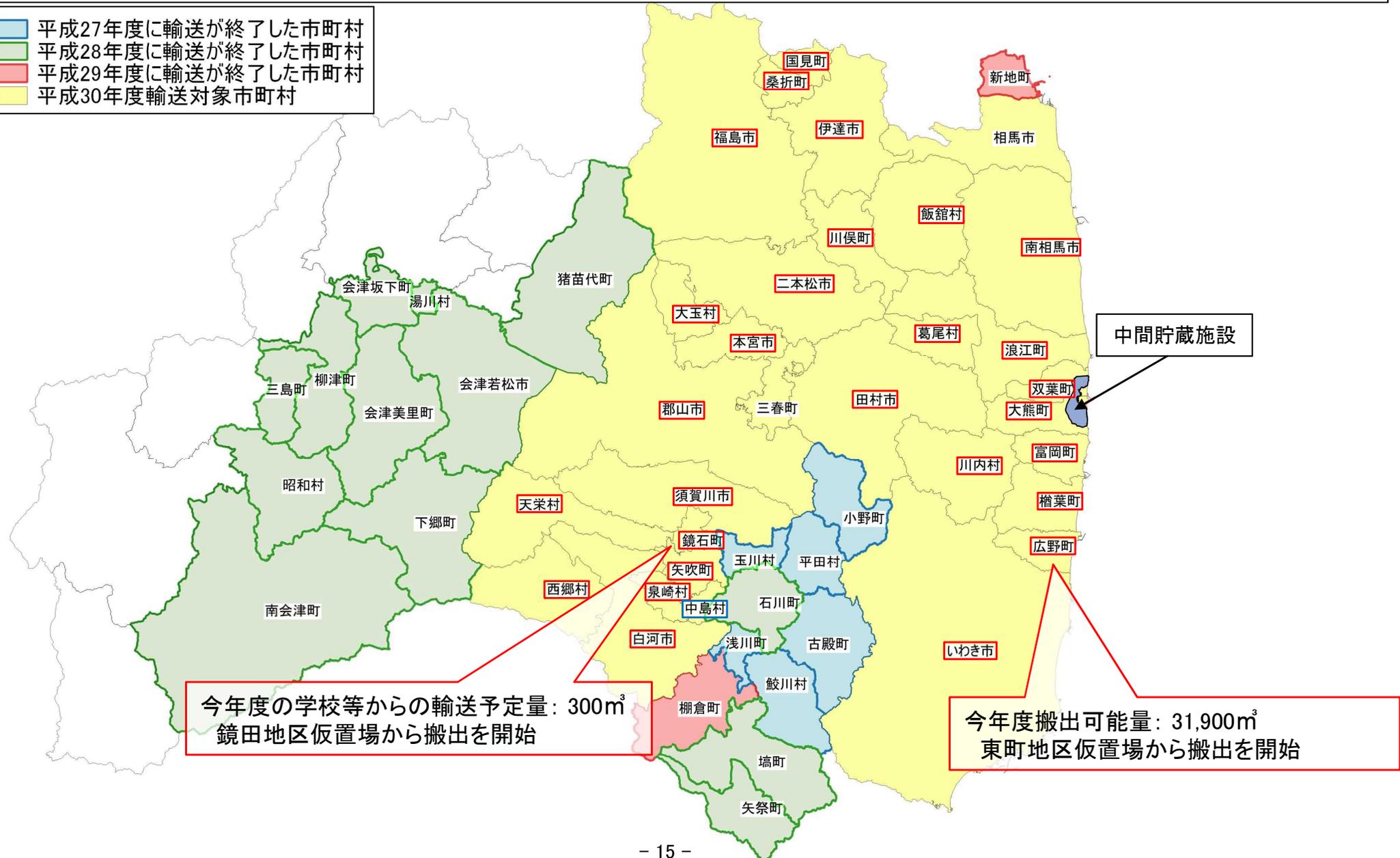
http://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki_umetate_fukushima/progress/

中間貯蔵施設への輸送対象市町村

別添7

- 8/27に新たに鏡石町から、8/30に広野町から平成30年度の輸送を開始しました。
- 既に今年度の輸送を開始している市町村は赤枠のとおり。
- また、青枠の市町村は、今年度に全ての除去土壌等の輸送が完了しています。

- 平成27年度に輸送が終了した市町村
- 平成28年度に輸送が終了した市町村
- 平成29年度に輸送が終了した市町村
- 平成30年度輸送対象市町村



第2回相談員合同ワークショップ開催

別添8

1. 日時 : 8月28日(火)13:30~16:50 【内閣府・環境省共催】
2. 場所 : いわきワシントンホテル
3. 参加者 : 79名 (※市町村職員・相談員:28名、社協:11名、県関係者:3名、関係省庁:21名、その他:16名)
4. 議題 :
 - I. 会議趣旨・現状説明(環境省、内閣府、資源エネルギー庁、ふくしま心のケアセンター、相談員支援センター)
 - II. 各自治体の活動紹介(浪江町、広野町、川俣町)
 - III. グループディスカッション(①相談員支援センターの活用方法 ②好事例・失敗事例の共有 ③放射線相談対応手順)

浪江町、広野町、川俣町から活動事例の報告



グループディスカッションでは、それぞれの課題について2グループずつの計6グループに分かれて議論しました。

- 8月24日（金）に特定廃棄物埋立情報館「リプルンふくしま」が開館し、伊藤環境副大臣をはじめ、福島県富岡町の宮本町長、同町議会の塚野議長、福島県楡葉町の松本町長、同町議会の青木議長、福島県の大島生活環境部長や地元の方々が開館式に出席しました。

○特定廃棄物埋立情報館 リプルンふくしま



- 特定廃棄物埋立処分事業の内容や安全を確保するための取り組み、処分の進捗状況やモニタリング結果などの最新の情報を公開することで、地元の方々の疑問や不安などの軽減や安心の確保に資するとともに、広く県内外の方々に対して事業の安全性についての理解を促進し、風評被害を払しょくすることを目的としています。

○24日当日の様子



開館前の展示室内



展示コンテンツを体験する様子



開館式にて挨拶をされる伊藤副大臣

リプルンふくしま実験教室を開催しました

別添10

8月24日にオープンした特定廃棄物埋立情報館「リプルンふくしま」において、夏休み最後の土日となる25日、26日に実験教室を開催しました。

今回は河川水のモニタリング体験や放射線の可視化実験などを、東京電力福島復興本社、リプルンふくしま、そして環境省が協力して実施しました。

参加者からは「普通、触ることのできない機器を使って実験をできるのはありがたい」「楽しく勉強できた」との声をいただきました。

リプルンふくしま及び環境省は、今後も近隣の関連機関と協力し、実験教室などのイベントを定期的を開催する予定です。



館内での予備学習



実験の説明



モニタリングフィールドの説明



放射線可視化実験



放射線測定体験



説明員向け勉強会